

新型コロナウイルスへの対応

質疑応答

2020年4月16日

「必要不可欠な儀式、祝福、その他教会の働きに関する指示」に追加された本文書は、COVID-19（新型コロナウイルス）のパンデミックの間、教会の管理運営についての質問に答えるために使用することができます。

これらの文書は、世界的な COVID-19（新型コロナウイルス）のパンデミックによって教会の手続きや会員の活動が中断されたことに対処するために発行されました。また、特定の国や国の一部の地域で感染の拡大が続き、それに伴って教会の集会と公での活動に正式な制限が設けられている限り、これらを指針として利用してください。

ビショップとステーク会長は、地元の状況と規制に注意を怠らず、気を配るべきです。教会員に法律を守るよう奨励します。また以下に掲載されたそれぞれのよくある質問について、次の情報を注意深く適用してください。

- 以下のリンクにある“Preventative Measures for Members”（「会員のための予防措置」）に記載されているソーシャル・ディスタンス（人との距離を保つこと）、手洗い、その他の行為。

newsroom.churchofjesuschrist.org/article/coronavirus-update#preventative-measures

newsroom.churchofjesuschrist.org/article/coronavirus-update#preventative-measures

- 医療の専門家や政府の指導者から指導された自己隔離の原則と手順。
- 各地に制定された政府の政令や規制，ガイドライン。

COVID-19（新型コロナウイルス）に関して追加された文書は，newsroom.ChurchofJesusChrist.org で閲覧できます。

特に難しい質問がある場合，ステーク会長は地域会長会に連絡します。

I. 神権の儀式と家族の集まり

聖餐の執行

神権者は，家庭にふさわしい祭司やメルキゼデク神権者がいないワード会員の家庭で聖餐を執行できますか？

ほとんどの場合，できます。現在のところ多くの国や都市で，政府の指示や地元の規制により，このような行為が制限されています。さらに通達があるまで，それらの地域では，神権者は聖餐を執行するために家族関係にない教会員の家に入るべきではありません。こうした状況下では，会員は聖餐の祈りを研究

し、自分が交わした聖約を守る決意を新たにし、神権者により適切に執行された聖餐を直接受けられる日を求めて祈ることによって祝福を受けます。

祝福師の祝福

祝福師の祝福は引き続き予定通りに行えますか？

祝福師の祝福は、当面は延期すべきです。しかしながら可能であれば、伝道に出る準備をしている人々は、伝道期間が始まる前に祝福師の祝福を受けるべきです。

結婚式、披露宴、葬儀

新しいガイドラインでは、集会所で結婚式（披露宴を含む）や葬儀を行うことは許可されますか？

政府の規制によって制限されている地域では、結婚式や披露宴、葬儀を集会所で行うべきではありません。法律で認められている場合、ビショップおよびステーク会長は、ソーシャル・ディスタンスが保たれる適切な環境において結婚式を執行することができます。家族や友人が式の模様を見るために、テクノロジーを使用することもできます。指導者や会員たちは政府の政令や規制、ガイドラインに従うべきです。

法律で認められている場合、ビショップリックおよびステーク会長会の一員は、墓地での埋葬式を執行できます。家族や友人

が式の模様を見て記録するためにテクノロジーを使用することもできます。もし望むならば、状況が許すときに、より大きな追悼式を後で行うことができます。

子供の命名と祝福

ガイドラインでは、家庭で子供の祝福を行うことは許可されますか？

はい。ビショップから承認された場合、教会の集会所の代わりに会員の家庭で祝福を執行することができます。祝福は適切に報告される必要があります。

II. ワードおよびステークの管理運営

集会と面接

ビショップリック集会、ステーク会長会集会、高等評議会集会、そのほかの会長会集会、面接は、直接会って行うことができますか？

これらについては、入手できるあらゆる情報に基づいて地元で決定すべきです。集会と面接は、可能であればテクノロジーを使って行うことができます。

集会の出席数の記録

集会在中止された場合、レポートの出席数はどのように数えて報告しますか？

日曜日の礼拝行事が当面は中断されているので、出席数は報告する必要がありません。

建物と施設の使用

建物や運動場は使用できますか？ 青少年が集まって、集会所の外にあるコートや競技場でサッカーをすることができますか？

支部やワード、ステークの活動は、当面は中止されます。各自が「会員のための予防措置」に従うべきです。会員は政府の政令や規制、ガイドラインを守るべきです。

スポーツや聖歌隊の練習、ピアノのレッスンなど、日常のそのほかの活動は、引き続き集会所で行うことができますか？

スポーツや聖歌隊の練習、ピアノのレッスンなどの活動は、当面は中止されます。会員は政府の政令や規制、ガイドラインに従うべきです。

教会の建物で毎週開かれる依存症立ち直り支援のクラスや自立支援のクラスは、どうすべきですか？

テクノロジーを使って開くべきです。

ステークセンターにある家族歴史センターは閉鎖されますか？

はい、利用者は家庭からテクノロジーを使います。

セミナーとインスティテュート

すべての質問について、COVID-19（新型コロナウイルス）に対処するCESのガイドラインを参照してください。

什分の一と献金

ビショップリックは引き続き什分の一と献金を直接受け取り、その週の処理を入力しますか、それとも集会が中止されている期間は電子的に行うだけですか？

可能であれば、会員はオンラインで献金します。オンライン献金にアクセスできない会員は、ビショップリックの一員に直接渡すか、地域会長会がこの方法を不適切と見なさない限り、宛名が記載された封筒を使って献金を郵送することもできます。さらに質問があれば、地域会長会に問い合わせてください。

FSY カンファレンス

FSY ユースカンファレンスは、今年(2020年)の夏に開かれますか？

2020年FSY ユースカンファレンスは、2020年にアメリカ合衆国とカナダで開かれる予定でしたが、2021年まで延期されました。2020年のFSY ユースカンファレンスに参加するよう招待されていたステークは、2021年に参加します。2021-23

年にアメリカ合衆国とカナダで開かれる *FSY* ユースカンファレンスの予定は、間もなく更新されます。2020年に招かれていたステークの青少年で、年齢条件を満たしている人は、2021年の *FSY* に参加するように招待されます。アメリカ合衆国とカナダ以外では、地域会長会が地元の地域社会や国の政府によって制定された *COVID-19* (新型コロナウイルス) のガイドラインに従って、*FSY* カンファレンスを開くかどうかについて指導します。*FSY* カンファレンスに関するさらに詳しい情報は、[FSY.ChurchofJesusChrist.org](https://www.FSY.ChurchofJesusChrist.org) で見るすることができます。

III. 宣教師の奉仕

伝道前

宣教師推薦書は引き続き地元の神権指導者によって手続きされますか？ 宣教師は申請後間もなく、これまで通り召しを受けますか？

はい。

ビショップとステーク会長は、宣教師志願者と直接会って面接できますか？

はい。しかし宣教師志願者の面接は、可能な限り、テクノロジーを使い、ネット経由の対面式で行います。*Missionary Life*

宣教師の生活

宣教師はこれからも、自宅で教えるように招かれた場合、人と直接会って教えることができますか？

いいえ。宣教師は地域会長会や伝道部会長からの指示だけでなく、政府の政令や規制、ガイドラインにも従うべきです。しかし、宣教師はテクノロジーを使って連絡の取れる人々を教えることができます（テクノロジーで教えることに関する宣教師ビデオシリーズ参照）。

宣教師は街頭伝道を引き続き行うことができますか？

宣教師は政府の政令や規制、ガイドラインに従い、地域会長会と伝道部会長から受ける指示を守るべきです。

コロナウイルスに感染した人から祝福を求められた場合、宣教師は祝福するべきでしょうか？

いいえ。宣教師は COVID-19（新型コロナウイルス）の検査に陽性の人や、その症状が表れている人、あるいは感染者と接触していた人を訪問すべきではありません。テクノロジーを使ってそのような人を教え導き、彼らのために祈ることができます。

宣教師は引き続き「JustServe」で奉仕活動を提供しますか？

宣教師は地域会長会や伝道部会長からの指示だけでなく、政府の政令や規制、ガイドラインにも従うべきです。

会員伝道活動

会員伝道活動は引き続き推進することができますか？

はい。ステーク会長とビショップの指示の下で行います。会員伝道活動では、事態が改善するまで、専任宣教師の活動と同じように、人を直接訪問することが制限されます。

宣教師集会

ミッションツアアの代わりに、地域会長会は指導者評議会やゾーン大会に出席できますか？

ゾーン大会のために宣教師が物理的に一堂に会するのは、当面は中止します。集会は必要に応じてテクノロジーを使い、ネット経由で行うことができます。

IV.神殿活動

神殿推薦状の面接と有効化

教会員は有効な神殿推薦状を保持するように奨励されるべきですか？

はい。有効な神殿推薦状は、神殿礼拝が不可能だとしても、その人の神殿に参入するふさわしさを認めるものです。

神殿推薦状の面接は引き続き、直接会って行わなければなりませんか？

いいえ、ビショップリックおよびステーク会長会の一員は、顔を合わせて話せるテクノロジーを使って、当面は神殿推薦状の面接を行うことができます。

神殿推薦状は署名なしでも発行すべきですか？

はい。ビショップリックの一員は、利用可能なテクノロジーを使って面接を行うことができます。面接の後、推薦状に署名し、それを写真に撮ってステーク書記に送ることができます。それから、署名の入った神殿推薦状を会員に手渡すか、郵送します。会員は受け取った推薦状に署名します。

ステーク会長会の一員が会員と面接した後、彼またはステーク書記は署名のない推薦状を有効化できます。ワードの聖餐会およびそのほかの集会が再開されたら、まだ署名されていない推薦状を持つ各会員は、ステーク会長会の一員に署名してもらいます。

V. そのほかの質問

わたしたちは引き続き献血運動に参加すべきですか？

はい。献血運動は引き続き行われますが、各地に定められた政府の政令や規制、ガイドライン、そして献血運動の組織（赤十

字やそのほか) の手順に従うべきです。集会所と駐車場は、政府の政令や規制、ガイドラインに従っていれば、赤十字やそのほかの組織が簡易施設のために使うことができます。

指導者は、COVID-19（新型コロナウイルス）の感染者あるいは濃厚接触者と接触してきた可能性のある会員に、そのことを知らせるべきでしょうか？

責任上、感染した会員と自然に接触する機会のある指導者やミニスタリング・ブラザーとシスターを含め、ほとんどの場合、「はい」です。これらの指導者やミニスタリング・ブラザーとシスターは、テクノロジーを使ってネット経由で、引き続きミニスタリングを行い、「会員のための予防措置」のガイドラインに従うべきです。会員は政府の政令や規制、ガイドラインを含め、適用される法律を守るべきです。

さらに質問があれば、必要な助言を提供できる地域会長会に問い合わせてください。